

「学内外のパイオニア的活動」を表彰します

2026「今堀誠二賞」に奮って応募を

総合科学部同窓会は、初代学部長にちなんだ「今堀誠二賞」候補者を募集します。2024年に学部創立50年を記念して設けた賞で、学生部門は本年が2回目です。

賞の対象とするのは学問研究のほか課外活動、社会・経済活動、平和・国際貢献など幅広い分野における実践・実績です。学部創設の志に通じる創造的な活動を評価し、新規性や独自性を重視します。個人の活動を想定しますが、内容によっては団体も対象とします。

学生部門の受賞者には賞金5万円、同窓生部門には賞品を贈ります。

既存の「学長表彰」「総合科学部岡本賞」などとは一味違った、総科らしいユニークさや「型破り」な活動など、「ナンバーワンよりオンリーワン」に注目します。自薦他薦を問いません。(別紙推薦書)

●締め切りは9月末

応募締め切りは2026年9月末。

申し込み窓口は総合科学部同窓会事務局。

〒739-8521 東広島市 鏡山 1-7-1

電子メール：souka-oba@souka-oba.hiroshima-u.ac.jp



●学生部門に賞金5万円

【趣旨】

広島大学総合科学部は、旧制広島高校、新制広島大学教養部を母体にしながらも1970年代の大学改革によって再生し、国内初の文理融合、学際探求型の先進的学部として1974年に誕生しました。

第1回入学式で、今堀誠二・初代学部長（▲写真）は壮大な志を述べておられます。

「総合科学という世界のトップを切って進む学問…諸君こそ次の時代を担って立つ…日本全体が期待しています。…近代科学は間もなくその歴史的使命を終えて老兵となって消えていきます。これに代わって人類の歴史を担っていくのが総合科学であり、諸君はそれを勉強するためにわが学部に入学されたのです」

学問としては「創造性」「総合性」「学際性」を柱に据え、新たな道を切り開くパイオニア精神にあふれた門出でした。その精神を今も引き継いでいるのが学部発展の大きな理由です。

同窓会は、2024年に半世紀の節目を迎えるにあたり、「学部生みの親」として創立に力を尽くされた初代学部長今堀誠二先生ら関係者の方々を思いおこし、そのパイオニア精神あふれる志を受け継ぐとともに次代の後輩たちを励ますため「今堀誠二賞」を創設しました。

●これまでの受賞者

【特別賞】2024年8月

- ・堀川恵子（外国語コース・1998年入学）テレビドキュメンタリー、ノンフィクション作家活動

【学生部門第1回】2025年11月（応募5点）

- ・廉明德（自然探求領域・2023年入学）先端的な化学研究（墨の煤分析など）や国際学会発表
- ・片桐萌（社会探究領域・2023年入学）地方の祭の活性化・運営支援のコンサルタント活動

●パイオニア精神受け継ごう

【要綱】

1、目的 この賞は、総合科学部の初代学部長、今堀誠二先生（1914-1992年）を顕彰し、学部創設の志を刻み直すとともに、パイオニア精神あふれる創造的な活動に対し、これを称え、励ますことを目的とする。

2、部門 この賞には、総合科学部に在籍する学生を対象とする「学生部門」と、卒業生を対象とする「同窓生部門」の2部門を設ける。

3、推薦、選考 学生部門は、自薦及び学部教職員の推薦に基づき、同窓会長及び学部長が指名する選考委員会が選考する。同窓生部門は、自薦及び同窓会長の推薦に基づき、理事会が選考する。

4、賞金、副賞など 賞金は、寄付金その他をもって充てる。金額、副賞などは理事会で決める。

5、表彰式 表彰は年1回、広島大学ホームカミングデーの場などで行なう。

6、その他 この賞の運営や選考その他に問題が起きた時は理事会で解決を図る。

2024年8月10日制定

今堀誠二先生 多分野で活躍 大学改革の先頭に

【いまほり・せいじ】（1914～1992年）大阪市生まれ。広島高師付属小中、同高師、広島文理大卒。同大副手、助教授などをへて72年広島大教養部長。学園紛争で問われた大学改革を当時の飯島宗一学長らと進め、74年総合科学部を誕生させた。77-87年、県立広島女子大学長。中国現代史研究の第一人者として80年学士院賞受賞。「原水爆時代」（59-60年）を著わすなど平和運動にも力を注いだ。民衆の視点を貫くヒューマニストで、作家瀬戸内寂聴氏との交友は有名。政府や自治体関係の委員、文化・平和諸団体の役員など多分野で活躍した。生涯独身。墓所は大阪府の大阪北摂霊園。

※今堀先生の第一期生入学式あいさつ全文など学部設立特集「総合科学」1974年7月号は、総合科学部ホームページ「広報・刊行物」→「飛翔」→「バックナンバー」にあります。